

## 校長室から 12月

早いもので、2学期が終わります。1年の中でも一番長く、一番多くの行事や勉強をすることがあった学期です。今日の終業式で、「2学期はどうでしたか？」と子供たちに聞いてみたところ、「楽しかった」という声がたくさん聞かれました。これも保護者の皆様、地域の皆様が励まし、温かく見守ってくださったおかげと感謝しております。

本当にありがとうございました。

本日の終業式で、子供たちに話した内容です。

「旭町小学校のよいこのみなさん、おはようございます。明日から、待ちに待った冬休みですね。2学期はどうでしたか？今日は、冬休みについてお話したいと思います。

さて、「冬休み」と言ったら、思いつくものはなんですか？クリスマス、年越しそば、餅つき、初日の出、初詣で、年賀状、お年玉、お節料理、お雑煮、凧あげ、コマまわし、羽子板、書き初め、などなど、たくさんあって、楽しい気持ちになりますね。

皆さんが冬休みに、一番楽しみにしていることは、何ですか？一つだけ、校長先生に今、教えてください。大きな声で一斉に言ってください。よく聞こえました。お年玉が多かったようですね。さて、このお年玉の意味を知っている人はいますか？

よく聞いてください。『お年玉の語源は、昔、正月に年神様を迎えるために供える、丸い鏡餅が、家長から子供に分け与えられ、その餅がおとしだま、と呼ばれたことからできたのだそうです。現代では、餅が分け与えられるのではなく、お金が与えられるようになりましたが、その年を、その1年を、生きるために必要な生命(命)を子供に分け与えることで、子供の無事な成長を願う』のだそうです。だから、このお金は、皆さんが生きるために必要な命、力にたとえています。無駄遣いをせず、計画的に、大事に使ってほしいと思います。

ところで、皆さんは、どうして冬休みがあるのか考えたことはありますか？

「寒くて、学校に来るのが大変だから？家でゆっくり休みましょう」だと思う人？

そうですね。それもあります。でも実のところ、冬休みの目的は、3つあります。

- ・年末年始ならではの、家庭生活や地域の行事などを体験する。
- ・1年間を振り返り、新年の希望や抱負(心構え)を持つ。
- ・健康で安全な生活を送れるようにするための休養の期間。

日本に昔から伝わる文化や習慣として、先ほど挙げた、初詣、餅つきなど、お正月に必ずと言っていいほど行うことがあります。どれも、楽しくて、おいしいことだらけです。

世の中が便利になり、生活が変わってきているので、年越しそばを食べない、初詣では行かない、お節料理を作ったり、食べたりしない、凧あげや、羽子板をやったことがない、なんて人もいるかもしれませんが、どれか一つでもこの日本の伝統行事を、お家の人と体験して、お正月に、お家の人と、どんなことをしたか、1月になって、学校が始まったら校長先生に教えてください。

寒さが一層厳しくなります。感染症にかからないように十分注意してください。

また、出かけることが多くなると思います。交通事故や怪我に気を付けてください。

家族と過ごす時間を大事にする、楽しい冬休みになることを、校長先生は願っています。

それでは、1月9日に、元気に会いましょう。」

この後、「お年玉は大事に使います!」と言って、教室に戻って行く元気な子供たちがいました。

【校長室の窓から】



いよいよ、本格的な寒さがやってきました。今夜は、ゆず湯で暖まりましょう。

皆様、良い年をお迎えください。